

第 10 次厚木市総合計画基本構想（案）に対する意見交換会について

政策等の議題(テーマ) の名称及び検討事項		第 10 次厚木市総合計画基本構想(案)に対する意見交換会	
開催日時		令和2年9月 24 日(木) 午後7時から8時 30 分まで	
開催場所		本庁舎4階 大会議室	
出席者数		17 人	
担当課	企画政策課	結果公開日	令和2年 10 月9日
会議の経過		<p>1 開会 ※ 会議の冒頭、本計画案についてはパブリックコメント期間中であるが、直接市民の皆様から御意見を伺うため開催した旨を説明。意見については、パブリックコメントとして策定に当たって参考とさせていただくことを了承いただいた。</p> <p>2 部長あいさつ</p> <p>3 第 10 次厚木市総合計画基本構想(案)の説明</p> <p>4 意見交換</p> <p>5 閉会</p>	
	質問・意見の概要	市の考え方	
1	まちづくりの主体者が、市民、事業者、行政となっており、議会が抜けているが、議会を軽視しているのか。	議会は市民の代表者であるため、市民の声、市民の皆様そのものだと考えています。基本構想については、議会の議決案件となっており、内容について議会の承認を得なければなりません。「議会」という言葉はでてきていませんが、思いとしては共に進めていくという思いです。	
2	基本構想の中に、第9次厚木市総合計画「あつぎ元気プラン」の振り返りが無いが、その理由は何か。	基本構想については、これまでの第9次厚木市総合計画「あつぎ元気プラン」の取組について、市民の皆様を検討していただき作成をしています。具体的な振り返りについては、基本計画においてお示ししたいと思っています。	
3	ソサイエティ 5.0 を国の施策と同じように、厚木市に当てはめるのは安直な考えではないか。また、コンパクト・プラス・ネットワークについても、人口	すでに AI や RPA を用いた取組を行政内で検討しています。未知のもので、時代の流れに乗る必要もあることから、こういった形で記載しています。	

	20 万人程度の厚木市にそっくり当てはめて良いものなのか。もっと違う、地道な厚木らしいまちづくりがあるのではないか。	コンパクト・プラス・ネットワークについては、本市の特徴とも言える放射状に延びているバス路線をいかし、誰もが快適に暮らし続けることができる都市づくりを目指す必要があると考え、基本構想に記載しました。
4	感染症の脅威という、新たな項目を作ったことはとても評価できる。これからの時代、欠くことのできない項目であり、様々な分野でこれまでと異なる価値観に立つことが必要。既成観念にとらわれないまちづくりが大切だと思う。	既成観念にとらわれない取組というのは、今後どのように社会が変化していくかということを含め向き合わなければなりません。現段階においても、感染症の影響で考え方を変えていかなければならない部分もあります。一括りにできる問題ではありませんが、これまでとは違った考え方をしなければならないという姿勢はお示しできたかと思います。
5	総合計画は最上位の計画とのことだが、コロナウイルスや選挙などで、市の体制が変わった場合、この計画はどうなってしまうのか。	市民の皆様と作り上げてきたものであることから、体制が変わったからといって影響はありません。コロナウイルスによる影響については、具体的な部分について見直すこともあります。
6	環境問題への対応について環境負荷が少ない、低炭素・循環型社会の形成をより一層進める必要があるとのことだが、市の数値目標はあるのか。また、国が環境未来都市、環境モデル都市などを選定しているが、目指そうという気持ちはあるのか。	環境分野において、地球温暖化対策実行計画を策定しており、本市では、平成 25 年から令和 12 年までの温室効果ガス削減目標を 27% としています。環境モデル都市を推進する地域の取組については、基本計画や実施計画で検討していきます。
7	コロナウイルスにより、様々な影響が出ており、今後も想定外のことが起きる可能性が想定されるが、専門家等の意見は参考にしているのか。	感染防止という観点では、医師会に御協力いただき、医師会から意見を伺いながら感染防止対策に努めています。
8	現行の総合計画「あつぎ元気プラン」でできなかった施策とできた施策の分類はできているのか。また、基本構想は 12 年間で厚木市が目指す姿となっているが、直近でやらなければいけない課題と 12 年間かけてやる課題の整理はできているのか。	現行の総合計画で出来なかったもの、出来たもの、継続して続けているものについては、毎年施策の評価を行っています。11 月に基本計画を皆様にお示しする予定ですが、その際に、現行の総合計画で出来なかったこと、出来たこと、それらを踏まえ、次期総合計画では、どうしていくのかをお示しできればと思っています。

9	全体的に抽象的で、何を 12 年間で目指し、何を目標にするのかが分からない。12 年後の厚木市がどのように変わるのか、具体的な数字が何もない。ある程度はつきりした目標がこの段階で決まっていなくてすべてが後手になってしまうと思う。	基本構想ということで、抽象的な内容になっていますが、基本計画では施策別の取組や数値目標を掲げています。11 月に基本計画を皆様にお示しし、意見交換会を開催する予定ですので、御参加いただければと思います。
10	基本計画と実施計画の具体的なスケジュールはどうなっているのか。	基本計画については、11 月に素案を皆様にお示しし、意見交換会を市内8会場で開催予定です。また、令和3年1月には、意見交換会等でいただいた御意見を踏まえ、基本計画(案)を作成し、パブリックコメントを実施します。実施計画については、意見交換会等の予定はありません。年度末に向けて策定を進めています。
11	「まちの活力の向上がより一層求められます。」とあるが、市が考えている「まちの活力」とは何か。	経済産業構造という点でお答えするならば、本市には非常に多くの企業があり、企業による雇用の創出などが「まちの活力」につながっていると思います。もちろん、経済産業分野以外での「まちの活力」というものもありますが、ここで申し上げている「まちの活力」とは、主に事業系の産業経済状況を含めたものです。
12	「鉄道ネットワークの拡大などを促進し」とあるが、具体的に何を考えているのか。	鉄道ネットワークの拡大については、早急に対応できる問題ではありませんが、相模原方面の小田急線延伸などは、取り組みを進めています。一概に諦めたということではなく、こういったものも視野に入れていかなければならないと考えています。
13	土地利用の方針について、「市内の充実したバス路線をいかした、コンパクト・プラス・ネットワーク型の都市づくりを進め」とあるが、厚木市内のバス路線は中心市街地に向かっていく路線が多く、充実したバス路線という評価はできないと思う。市ではバス路線が充実しているという評価なのか。	本市のバス停までの徒歩圏人口カバー率は、84%となっており、近隣市町村にはない状況となっています。中心市街地から放射状に伸びているバス路線は充実していると認識していますが、横方向の移動が困難という点は、課題であると考えています。環状のバス路線やコミュニティバスの導入などを今後の取組として考えていく必要があると考えています。

14	宮ヶ瀬ダムと中心市街地、三川合流地点と市役所の海拔差を行政は把握しているか。	<p>海拔(標高)について</p> <p>厚木市役所西側駐車場 20.3m</p> <p>中町 2-2 地区駐輪場付近 19.1m</p> <p>三川合流付近(川のそば) 13.5m</p> <p>三川合流付近(市営プール入口道路) 23.9m</p> <p>宮ヶ瀬ダム(構造物上部) 290.0m</p> <p>宮ヶ瀬ダム(構造物下部) 134.0m</p> <p>宮ヶ瀬ダム(満水位) 286.0m</p> <p>となっています。</p>
15	厚木市のバス路線は本厚木駅を中心に放射状に延びているのが現状。市内を環状に走るバス路線ができることさらに利便性が増すのではないでしょう。	環状のバス路線やコミュニティバスの導入などを今後の取組として考えていく必要があると考えています。
16	宮ヶ瀬ダムが決壊した場合、厚木市全土が飲まれてしまうと聞いた。新庁舎の防災対策は大丈夫なのか。	新庁舎については、千年に一度の大雨(最大規模)でも浸水する想定はなく、土地のかさ上げや水が入らないよう対処する機械室を3階以上の中層階に置くなどの対策を行い、水害に対する備えはしっかりとしたものを作っていく考えです。
17	現行の総合計画で達成できなかったことなどの振り返りを新たな総合計画にも入れるべき。	11月に基本計画の中で、皆様にお示したいと考えています。現行の総合計画で出来なかったこと、出来たこと、それらを踏まえ、次期総合計画では、どうしていくのかをお示しできればと思っています。
18	パブリックコメントを10月1日まで実施しているが、11月の意見交換会に間に合うのか。また、基本計画で具体的なものを示すということだが、具体的な数字を出すときの根拠はどうなっているのか。	<p>現在実施しているパブリックコメントは基本構想に対するものです。11月の意見交換会については、基本計画の素案を皆様にお示しする予定です。また、基本計画のパブリックコメントについては、令和3年1月に実施する予定です。</p> <p>数字の根拠ですが、庁内で検討を進めています。何かの半分ですとか、そういったことにはならないよう、現状値に基づく目標値をしっかりと定めていきたいと思っています。</p>
19	利便性も大切だが、人の命は何にも代えられない大切なものだと思います。	当然、人の命が一番だと思っています。